

としよしつをつかいかた

としよしつ 図書室は、1年生～6年生まで使うので、守ってほしいルールがあります。

ルールを守って、みんなが気持ちよくすごせるとしよしつ 図書室にしましょう。



〈つかいかた〉

あ じかん あさやす ちゅうかんやす ひるやす まいにち あ
開いている時間：朝休み・中間休み・昼休み（毎日開いています）

かしだしさうすう：4さつ かしだしきかんしゅうかん：2週間

※1年生は、2さつ、1週間です。

よやくさうすう：5さつ ※1年生のよやくはもう少しまわってください。

- ① 本をかりるときに、1・2年生は、図書バックがみつようです。かならず持つてきましょう。
- ② かりている本をかえしてから、新しい本をかりましょう。
- ③ 返す本は、ろうかにあるしろい箱の中に、大きさをそろえて入れましょう。
- ④ 本をかりるときは、カウンターで、かしだしのてつづきをしてもらいましょう。

※かしだしカードと、本のバーコードを見せてください。



〈ルール〉

- ① 図書室は、本を読む場所です。しずかにすごしましょう。
- ② 教室から図書室までのろうかや、図書室の中では走りません。歩いてください。
- ③ 図書室の中では、おにごっこや、かくれんぼなどをして、遊びません。
- ④ 本を返す日を守りましょう。
- ⑤ 本は大切にしましょう。やぶったり、らくがきしたりしません。
- ⑥ 本がやぶれてしまったり、よごれてしまったりしたら、図書室の先生に教えてください。本のしゅうりは、図書室の先生がします。
- ⑦ 本をお友だちにはかしません。自分のかりた本は、自分で持つておきましょう。
- ⑧ 図書室の本はじゅんばんにならんでいます。正しい場所にもどしましょう。

やわたしりつやわたしようがっこうとしよしつ
八幡市立八幡小学校図書室

ほんのおたより

ねんせい ねんせいやう
(1年生～3年生用)



れいわ ねん がつ にちはるごう
令和8年5月18日春号



たの ほん 楽しい本いっぱいあるよ

がつ しんがつき はじ げつ ねんせい としよしつ
4月から新学期が始まり、もうすぐ2か月ですね。1年生は、もう図書室のつかいかたをおぼえましたか？2年生・3年生は、新しい本の読書にちょうせんしていますか？今年度も読書の時間がありますので、いろいろな本をよ読んでみてくださいね。

こんかい よ たの きも ほん
今回の「ほんのおたより」では、読むと楽しい気持ちになる本をしょうかいします。きになる本があつたら、図書室にかりにきてくださいね。



えほん 『はるとスマレ』 エト さく かいせいしゃ
eto/作 偕成社



たの しょくぶつ 植物たちとのふしぎなおさんぽを楽しもう

はる おんな こ はな だい ひ
春にうまれた女の子はるちゃんは、お花が大すきです。ある日、にわ庭にさいているスマレを見て、うえきばちにうえたら、いえもつて帰れると思いつきました。はるちゃんは、じぶんへやおき、スマレちゃんと名前をつけました。

よる つき いろ ひかり へや はい
その夜、お月さまのうすむらさき色の光が部屋に入ってくると、なんと、スマレちゃんがスカートをはいて歩きだしたのです。お月さまが、こんや つき こんや あそ
とをゆるしてくれたのだそうです。はるちゃんとスマレちゃんは、よるのさんぽにでかけました。かしの木に登ったり、よつばのクローバーをさがしたり、いろいろなしょくぶつとおしゃべりしたり、とってもたの楽しそうです。

えほん 『やもじろうとはりきち』 降矢なな/作・絵 佼成出版社



ちがいがあからこそ、いっしょにいると楽しいね

ヤモリのやもじろうと、ハリネズミのはりきは、赤ちゃんの時から大のなかよしで、いつもいっしょにあそんでいました。

でも、いつからか、やもじろうは、はりきちといっしょだと

つまらないと思いはじめました。はりきは、走るのがおそくて、木登りもできないからです。とうとう、やもじろうは、はりきちに、「あっちいけよ。おれ、もうおまえとはあそばないから。」と、言ってしまいました。

次の日、やもじろうが、あそびに行こうとすると、目の前にねこがあらわれて、やもじろうはつかまってしまいました。そして、ねこは、したなめずりをして、やもじろうを食べようとねらっています。その時、やもじろうの様子を見ていたはりきちがあらわれます。さて、はりきは、やもじろうを助けることができるでしょうか？

えほん 『ともだちのつくりかた』 たかいよしかず/作 大日本図書

ともだちできるかな？

1年生は、小学校で新しい友だちにたくさん出会いましたね。2・3年生も、新しいクラスになり、はじめて同じクラスになった友だちもいるのではないのでしょうか？元気な子や、親切な子、おもしろい子など、クラスにはいろいろなお友だちがいますが、たくさんのお友だちとなかよくなれましたか？

この本には、友だちをつくる時に、大切なことが書かれています。まずは、自分を知ることから始めるのがよいようです。みなさんは、どんな色や、食べもの、動物が好きですか？自分のことを知ると、どんなお友だちとなかよくしたいのかが分かってくるかもしれませんね。

そして、どんな言葉をかけたら、お友だちは喜んでくれるでしょうか？気持ちがつたわる言葉や、つかいかたもしょうかいされていますよ。みなさんも、ゆう気を出して、お友だちに声をかけてみましょう。



しぜんかがく 『へんしんみず！』



かわむらやすふみ こばやしな おみ こうせい ぶん えんどうひろし しゃしん いわさきしよてん 川村康文・小林尚美/構成・文 遠藤宏/写真 岩崎書店

水のふしぎ、知っていますか？

みなさんのとっても身近にある水ですが、実はとってもふしぎで、すぐにへんしんするのです。

じゃぐちから、じゃーじゃー流れる水は、さわれますが、つかめません。でも、表紙の写真のような水ふうせんに、水を入れるとつかめます。そして、その水ふうせんをいれところにいれて、しばらく待つと、カチコチのつめたいこおりにへんしん。

次は、おなべにこおりをいれて火にかけます。こおりは、あつというまに水にへんしんします。そして、ぷつぷつのあわが、ぽこっぽこっの大きいあわにかわり、やがてぼこぼこことあわがたくさん出てきます。すると、白いゆげがでて、水がどんどんへっていきます。いったい、水は、どこにいったのでしょうか？

ふしぎな水のことを楽しく知ることができる科学写真絵本です。

ものがたり 『リリの思い出せないものがたり』

たかどのほうこ/作 たかはしかず え え ポプラ社 ふしぎで、温かいものがたり

小学2年生のリリちゃんは、おばあちゃんの庭に生えているクロスグリの木の下をのぞきこむと、あることを思い出しました。2才ぐらいの時に、葉っぱとみきの間の暗がりにもぐりこんで、なにかふしぎなような…、かわいらしいような…、とてもいいものを見た気がするのです。でも、はっきりとは思い出せません。

ある日、おばあちゃんのお友だちのフサ子さんが、おばあちゃんの家に来てきました。リリちゃんは、すぐにフサ子さんとなかよくなりました。そして、フサ子さんが作ったという「水玉のハンカチ」が出てくるお話を聞かせてもらうことになりました。そのお話は、水玉のハンカチがいろいろな人を助けていくお話でしたが、お話を聞いているうちに、リリちゃんは、何かを思い出したようです…。

